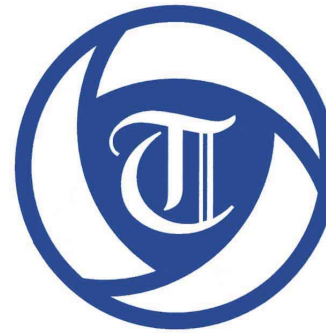


キャンパス散策 (富山短期大学)



富山短期大学は、昭和38年に県・市町村、経済界や県民有志による公私協力方式により、富山県内で初めての女子高等教育機関・富山女子短期大学として開学しました。

平成12年には男女共同参画時代を担うための男女共学に移行し、富山短期大学と名称を変更しました。同17年には専攻科食物栄養専攻を開設し、現在は食物栄養学科、幼児教育学科、経営情報学科、福祉学科と併せて4学科1専攻科としています。平成20年に開学45年を迎えた本学は、約20,000名の卒業生を社会に送り出し、北陸にお

ける伝統ある総合短期大学の地位を揺るぎないものにしてきました。

「清らなる知性」と「誠あるところ」を教育の理念とし、「知性、教養、個性を備え、少子高齢・IT社会を担う人材の育成」を教育目標としています。

また、「未来計画はここからはじまる」をキャッチフレーズに、短期間で密度の濃い集中的教育、地域社会と直結した実践的な専門教育、きめの細かい個別教育、幅広い教養と豊かな人間性を養う総合教育を特色としています。そして、地域に役立つ人材の育成と地域の生活・産業・文化の向上に貢献することを社会的使命とし、専門性と人間性を高める教育に重点を置いて教育を実践しています。



緑豊かなキャンパス

平成19年度、財団法人短期大学基準協会の第三者評価を受けた結果、平成20年3月に同協会が定める評価基準の全ての領域において適格と認定されました。

■ 学生支援の理念・目標

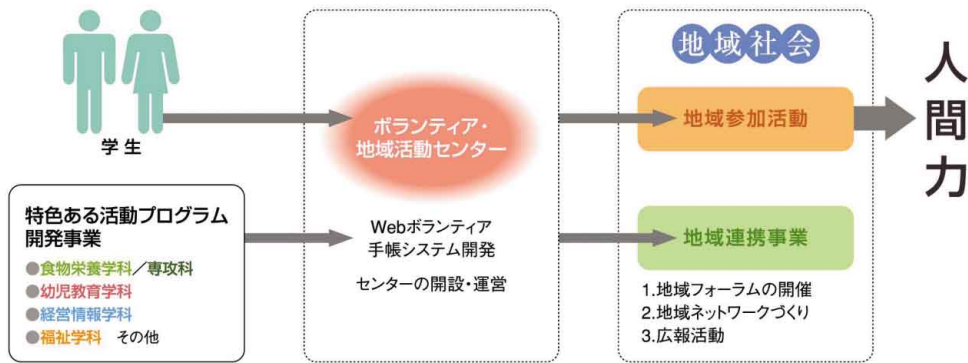
学生支援の理念・目標は、短期大学での学びを通してのスキルアップと人間的成長を願う学生の「未来計画」を実現するために、学習支援、課外活動支援、進路支援などの多面的な学生支援を全教職員が一体となって行い、そのプロセスを通して、新しい時代と地域を創る主体的な人材に成長するための支援をすることです。進路支援は学習支援の究極のゴールであるという精神のもと、学生の人間力を高めるために、教員は教育力の向上を図るためのFDを継続して実施し、教職員の一致協力により、学習活動と進路支援を一体的かつ総合的に展開しています。

■ 専門性と人間力を高める二つのGP

平成15年の「特色GP」において、入学前から卒業後にわたる一貫教育と、福祉社会への貢献という取組みで採択されましたが、これは、優れた福祉人材を養成するという専門性を高めることを目的とした取組みでした。採択後は教育支援、生活支援、進路支援を各学科の特色をふまえたきめの細かい支援によって、全学的に取組むことを課題としてきました。

平成19年には「学生支援GP」に、「地域をキャンパスとした人間力向上の取組」をテーマとして選定され、ボランティア地域活動センターを開設しました。この取組みの趣旨・目的は、社会活動への参加は地域の将来を背負って立つ人間力ある学生を育成するための有効な手だてであると捉え、学科の専門性を生かした活動モデルを構築し、学習支援と一体となった課外活動支援を展開することです。さらに、課外活動支援と進路支援をも関連づけることによって、人間力ある学生が地域にとって有為な人材として巣立っていくことにあります。

この二つのプログラムにより専門性と人間力の双方を高めることは、「地域に密着し、地域に貢献できる人材の育成」をめざす本学の教育理念・教育目標に即したものであります。



学生支援GP「地域をキャンパスとした人間力向上の取組」概念図



富山短期大学ボランティア・地域活動センター



学童保育補助のボランティア

■ 充実した学生へのサポート体制

学習支援においては、2年間の短大生活を学習面や生活面等で幅広くサポートしていくための学級担任制が特徴の一つとなっており、学生個々の自主性を尊重しながら、適切なアドバイスを行うようにしています。また、きめ細かな学習指導や教育効果の向上を図るために新教務システムを導入しており、学生自ら学習成果を点検できるとともに学習計画を立てることが容易となっています。付属図書館は数多くの蔵書を揃え、情報化も整備しており、利便性の高い施設になっています。

学生生活支援においては、より充実した学生生活が送れるように、学生相談室を設けています。専任のスクールカウンセラーや学校医が、個人的な問題や悩み事について、親身になって聞きながら、適切に解決の道を探してくれる体制を整えています。また、人物・学業ともに優秀かつ健康でありながら、経済的理由により学業継続が困難な学生のために、貸与または給付する制度を設けています。奨学金は日本学生支援機構、地方公共団体や企業の奨学事業団体など数種類あります。そして、在学中にやむを得ない事情で、学費の納付が困難な学生に対しては、学費の全部または一部を免除しています。この他、学生ホールでは定食・麺類・一品料理の提供、学内コンビニにおいては飲み物、軽食、日用品等を販売しています。



付属図書館は端末による蔵書検索サービスを行っている。



安価でボリュームのあるメニューがそろった学生食堂



学内コンビニ「ポポロ」

進路支援においては、各学科の教員と就職指導課の職員が密接な連携をとりながら、進路ガイダンス、面接指導、講演会、事業所訪問等を年間を通して実施し、計画的に支援活動を進めています。就職の決定率は高く、全学科の平均は98%~99%で推移しています。



就職資料室のパソコンで企業情報を即時検索できる。



学科教員と就職指導課職員による模擬面接